

広陽商工株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>広陽商工株式会社では、社会の信頼に応える時代に即した企業価値の創出を目指しています。特に力を入れているのが、ラピッドプロトタイピング、バーチャルエンジニアリングに普及に伴い、従来の試作材料の需要が減少していく中で、3Dプリンタによる造形や、未知の世界であったXR開発に取り組んでいます。この取組により、安定した雇用の維持と持続可能な経済成長を目指すとともに、小学校の社会見学等を受け入れる中で、生き生きと働く従業員や、ものづくりの様子を子供たちに見てもらうことができています。</p> <p>また、環境に配慮した製品の提供、有害物質が少ない樹脂の取り扱い、材料の再利用によるゴミの削減を通じて、地球の未来に貢献します。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 9	ゴミをださないモノ試作からIT試作へ移行	2020年0%→2025年 30%
	社会 4, 11	ものづくり体験の受け入れ	ものづくり体験の実施 4回/年 (2025年まで毎年)
環境 13	環境に配慮した製品の取り扱いの推進	全社売上における環境配慮した製品の取り扱い実績の割合 2020年 2% → 2025年 20%	